

氷見市議会企画総務委員会会議録

令和7年9月12日（金）

氷見市庁舎議事堂委員会室

開会 午前 9時57分

閉会 午前11時09分

- 1 案 件 令和7年9月定例会において企画総務委員会に付託されたもの
- 2 出席委員 6名
越田委員長、竹岸副委員長、正保委員、松原委員、積良委員、澤田委員
- 3 委員外議員 上坊寺副議長、荻野議員、穴倉議員、北議員、屋敷議員、萬谷議員
- 4 職務のため出席した議会局職員 布尾局長、横田次長
- 5 説明のため出席した者の職、氏名
菊地市長、篠田副市長、東軒政策統括監、出戸企画政策部長、天坂総務部長、宮下秘書広報課長、
蔵田未来戦略課長、高野地域振興課長、高林総務課長、杉本財務課長 ほか関係職員
- 6 傍 聴 人 1人
- 7 経過及び結果
 - ・越田委員長が開会を宣告し、市長挨拶の後、議事を進行した。
 - ・当局の説明を受け質疑応答を行った結果、いずれの案件も全会一致をもって原案を可とすることに決した（主な質疑応答は別紙のとおり）。
 - ・委員会報告の作成は委員長に一任され、特筆事項は無しとした。

氷見市議会委員会条例第27条第1項の規定によりここに署名する。

令和7年9月12日

氷見市議会企画総務委員長

越田喜一郎

令和7年9月企画総務委員会付託案件表

令和7年9月12日（金）午前10時

氷見市庁舎議事堂委員会室

- ◎ 秘書広報課 9:58～
 - ・ 議案第44号 令和7年度氷見市一般会計補正予算（第3号）中
秘書広報課所管に関する事項……………説明書P. 7

- ◎ 未来戦略課 10:03～
 - ・ 議案第44号 令和7年度氷見市一般会計補正予算（第3号）中
未来戦略課所管に関する事項……………説明書P. 7
 - ・ 議案第51号 氷見市ぶり奨学助成制度に関する条例の一部改正
について……………議案書P. 18

- ◎ 地域振興課 10:20～
 - ・ 議案第44号 令和7年度氷見市一般会計補正予算（第3号）中
地域振興課所管に関する事項……………説明書P. 13

- ◎ 総務課及び選挙管理委員会事務局 10:29～
 - ・ 議案第44号 令和7年度氷見市一般会計補正予算（第3号）中
総務課及び選挙管理委員会事務局所管に関する事項……………説明書P. 8
 - ・ 議案第52号 氷見市職員の育児休業等に関する条例の一部改正
について……………議案書P. 19
 - ・ 議案第53号 氷見市議会議員及び氷見市長の選挙における選挙
運動用自動車の使用等の公営に関する条例の一部
改正について……………議案書P. 20
 - ・ 議案第54号 氷見市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一
部改正について……………議案書P. 21

- ◎ 財務課 10:47～
 - ・ 議案第44号 令和7年度氷見市一般会計補正予算（第3号）中
財務課所管に関する事項……………議案書P. 1

（注）一般会計における給与費は総務課の所管です。なお、財源補正及び節区分補正に係る説明は不要です。

主な質疑応答

未来戦略課 正保委員	議案第 5 1 号 氷見市ぶり奨学助成制度に関する条例の一部改正について。今回の改正で、富山県、石川県の学生と公務員就職者を対象に含めることとしているが、これまで対象にしなかったのはなぜか。
出戸企画政策部長	制度設計時の段階では、富山県、石川県の学生のUターン率が高いこと、市の採用試験の応募者の倍率が高いことから費用対効果を考慮し、富山県、石川県の学生と公務員就職者を対象にしないこととした。
正保委員	実証実験の中で制度を改善する考えはなかったのか。
出戸企画政策部長	実証実験中は制度を判断する期間と捉えて実施していた。
正保委員	対象者を拡大することで不公平感は生まれないか。
出戸企画政策部長	制度を見直す上で結果的にこのようになるのは仕方のないことと考えている。
正保委員	人口減少問題の重要な施策の一つである「氷見市ぶり奨学助成制度」を市長はどのように考えているか。
菊地市長	この制度を通して氷見市との繋がりを作ってもらい、若い方々に氷見市に戻ってきてもらい、氷見市との関りを持ち続けてもらい、そのような制度にしていきたいと考えている。
松原委員	改正によって全ての方が対象者になるのか。
出戸企画政策部長	他の助成制度を利用されている方は対象外である。
地域振興課 松原委員	NPOバス運営推進事業費について。八代地区はデマンド運行を実施しないのか。
高野課長	将来的には全路線で導入したいと考えており現在、調整中である。
総務課及び選挙管理 委員会事務局 正保委員	議案第 5 4 号 氷見市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について。休暇を取りやすい職場環境に向け、どのようなことをしているか。
天坂総務部長	月に 1 回の庁議の際に、各部局から休暇取得状況や時間外勤務時間の報告を受け職員のサポートを行っている。今後は職員間のコミュニケーション

正保委員	の充実に向け働きかけを行っていく。
天坂総務部長	職員の悩み等への対応はできているか。
積良委員	職員が早期退職することのないよう対処していきたい。
高林課長	南中財産区議会議員選挙費について。どのような理由で議員が4名欠員となっているのか。
積良委員	2月2日の任期満了に伴う選挙において、定員8名に対し5名が立候補し当選となったが、その内1名の方がお亡くなりになったことにより現在4名の欠員となっている。
高林課長	選挙期日は何時を予定しているのか。
積良委員	南中財産区と協議の上、11月を目途に実施したい。
高林課長	議会の正常な運営に努める必要があるのではないか。
高林課長	選挙の執行に向け準備していく。
財務課	
正保委員	第2表 債務負担行為補正 地域おこし協力隊事業について。市役所内で人材確保の募集を行っているのか。
杉本課長	庁内でも行っている。
出戸企画政策部長	今回の氷見高校魅力化向上に向けた地域おこし協力隊事業については、教育委員会からの要望によるものである。
正保委員	震災対応に関わるような募集の仕方はできないのか。
出戸企画政策部長	地域おこし協力隊と市職員とでは役割の違いがあり、個人としてのミッションが多くなる。
正保委員	今後、市のミッションに応じて活用していきたいと考えている。